



2018年 8 月

第45号

備前市議会だより

おもな内容

P2～ 6月定例会のうごき

P4～ 一般質問 ～12人が登壇～

P11～ 委員会審査のようす

P13 次期定例会の予定

P14 「議員と語る会」議会報告会開催のお知らせ
編集後記

6月定例会の概要

〓 新庁舎建設工事契約案を可決〓

第3回定例会は6月1日

に開会されました。市議会議員選挙後の初議会に当たることから正副議長選挙や委員会構成などを行った後、6月4日、市長提案の11案件が提出され、13日に6案件が、27日に1議案が追加提案され、それぞれ最終日までに審議を終え議決後に閉会しました。

新議員へ

田原市長の政務報告 奥田新教育長の報告

開会日には、田原市長から5月の市議選を経て、新たな任期が始まった議員各位に対するお祝いが述べられた後、市政全般にわたる

報告を受けました。

また、去る4月27日に就任した奥田新教育長から教育に全力で取り組む決意を述べた教育行政報告を受けました。

一般質問は、6月13日からの3日間で議員12人が登壇しました。（一般質問の様子は4ページから10ページに掲載）
議案質疑は4議員が10案件（6議案4報告）に対して行った後、委員会に付託し詳細に審査しました。また、請願1件を上程して、同様に委員会付託審査としました。

6月27日の最終日には、委員長報告と請願審査結果に伴い留保された少数意見者報告を行い、審査された

案件に対する賛否を表明する討論と採決を行いました。今定例会では、市長提出議

案はすべて原案どおり決し、請願1件を不採択と決しました。

賛否討論

新庁舎建設（建築主体・電気設備・機械設備）工事の請負契約3議案

■新庁舎建設計画は、旧アルファビゼンへの移転案から始まり、この現地建替え案となったが、投資か財政再建か、今後の人口減や危機管理上の施設分散を考えれば建設することは市民に合理的利益がない。施策優先順位を見直し工事契約をしない勇断を求める。

■防災拠点整備は必要だが、市の将来像は検討不足であり、市民参画も十分とは言えない。東京オリンピックを控え資材高騰もある。期

限が迫っていると建設を急いだ合併特例債期限も5年延長された。伊部のこども園を2階建から平屋に設計変更したように、この際、勇気をもって立ち止まれ。

■談合情報も寄せられた入札経過の調査は十分だったかは疑問。今回の工種別分割発注は、建築主体工事の落札率（予定価格の97・7%）が極めて高いし、電気設備工事で約6千万円低い応札が失格となった最低制限価格設定にも問題があるのではないか。ここで踏み止まって徹底的な調査がなされるべきだ。

この3議案の討論は、反対討論のみとなりました。

各議員の賛否一覧（賛否が分かれた案件）

案 件	上 段：会 派 名 下 段：議 員 名	公 備 明 前 党 市 議 議 団 団		日 備 本 前 共 市 産 議 党 団		経 民 会			健 志 会				新 志 会		賛 成	反 対		
	掛 谷	森 本	中 西	田 口	守 井	尾 川	川 崎	西 上	橋 本	土 器	沖 田	青 山	藪 内	石 原			星 野	
新庁舎建設（建築主体）工事の請負契約締結		○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	10	5
新庁舎建設（電気設備）工事の請負契約締結		○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	10	5
新庁舎建設（機械設備）工事の請負契約締結		○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	10	5
「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を 求める」意見書採択を求める請願		×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	5	10

【表の見方】

1. 「○」は賛成、「×」は反対、「－」は表決に加わっていないことを表します。
記名投票による表決は投票賛否を、起立表決による表決は、「着席者を否（反対）とみなす」備前市議会の先例に基づいて記載しています。
2. ■は賛成又は反対討論を行った議員を示します。

新庁舎建設イメージ



監査委員の選任同意

最終日（6月27日）に市長から追加議案として提案された監査委員の選任案は全会一致で同意しました。

議員のうちから選任する監査委員に星野和也議員が選任されることとなりました。

請願の賛否討論

日本国政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択を求める請願

■核戦争反対、核兵器廃絶を求めるが、日本はこの条約採択時にできた核保有国と非保有国との溝を埋める橋渡し役を果たすべきで、今、日本が批准しても核の削減にならない。条約に核抑止力に関する整理がなく、現実的かつ実践的な取組こそが求められている。

□備前市議会では過去に核兵器使用・核実験反対や核兵器廃絶を求める請願採択や決議を議決している。今回の条約締結を欠席した日本政府は大きな批判を浴びた。国連を中心とした核兵器廃絶は世界の大きな流れであり、これまでの議会の論議からも採択とすべきだ。

(編集委員 沖田 護)

一般質問の要旨

登壇した12議員の一般質問の通告事項は次のとおりです。

発言議員	質 問 内 容	発言議員	質 問 内 容
1 中 西 裕 康	1 高いと言われる国保税の軽減について 2 市庁舎建設について 3 災害時避難所の整備について 4 市立病院への市民の期待の大きさにどう応えるか	7 石 原 和 人	1 定住化について 2 J Rについて 3 市民も楽しみ、P Rにもつながるイベントについて 4 教育について 5 旧アルファビゼンについて 6 本市の各種計画について 7 体育協会及びスポーツ少年団への補助金について 8 河川のしゅんせつについて
2 守 井 秀 龍	1 今後のビジョンづくりについて 2 産業の振興について 3 道路、水路の維持管理について 4 地域包括ケアシステムについて 5 安心な街づくりについて 6 太陽光発電所設置に伴う条例制定について 7 教育行政の推進について	8 沖 田 護	1 備前市の財政への認識 2 人口減対策について 3 市民にとって最良の医療政策 4 教育について 5 人材不足に外国人労働者の受け入れ体制の確立について
3 西 上 徳 一	1 転落事故防止対策について 2 海岸に打ち上げられたアマモの処理について 3 野良猫対策について 4 佐山古墳群の保存整備について 5 教育長の政務報告について 6 保育園の入園基準について	9 森 本 洋 子	1 受動喫煙防止について 2 海洋ごみについて 3 企業団地について
4 星 野 和 也	1 教育行政について 2 公共交通について 3 職員配置について	10 橋 本 逸 夫	1 人口減少対策について 2 新庁舎建設に係わる入札について 3 高齢者対策について
5 川 崎 輝 通	1 義務教育の負担軽減について 2 若者定住策について 3 高齢者対策について 4 水産資源対策について 5 赤穂市と上郡町の産廃場計画について	11 掛 谷 繁	1 まちづくりは「人づくり」からについて 2 町内会ハンドブックの提案 3 小中学校入学時の準備金支援について 4 本市の幼保無償化の効果と課題、国の動向について 5 子どもの貧困や引きこもりについて 6 「はしか流行対策」と「人工内耳」補装具の助成について 7 備前・和気線バス復活と観光マイクロバス・観光船運行について 8 「びぜんnavi」の充実・強化について 9 百条委員会の結果を受け「公文書管理」条例を制定すべき 10 国道2号交差点・県道交差点改良について
6 尾 川 直 行	1 消滅都市の人口減が加速、備前市の人口減対策は 2 高齢者の移動手段の整備、市営バス運行経路の見直しについて 3 赤穂線・山陽本線のI C O C A導入を期に公共交通機関利用促進を 4 片鉄ロマン街道ルート施設整備と片鉄跡地活用について 5 新備前市立図書館建設整備について 6 備前市の県立高校整備計画への対応は	12 田 口 豊 作	1 商店のリフォーム助成制度について 2 市内体育施設の修理費用について 3 国道250号通学路の安全確保について

高い国保税の軽減と人権に配慮した徴収を

日本共産党備前市議員

中西 裕康



問 国保税が高くなったのは、国が補助金を削ったからだ。まず国への補助金の要望を。

市長 岡山県等関係機関とともに国に働き掛ける。

問 国保会計に一般会計からの繰り入れを行って軽減はできないか。

市長 国が赤字補てんの繰り入れは控えるように求めている。本市では定められた繰り入れを考えている。

問 生まれた時から税金の支払いが生じる、子供の多子世帯に対する均等割の減免はできないか。これは国も「特別な事情」として一般会計からの繰り入れを認めているが。

市長 一度検討する。

問 税の徴収にあたり、「借金をして払え」、「給料の全額差し押さえに遭い、生活ができない」との訴えに対して「あなたの勝手、備前市には関係ないこと」などの人権侵害がある。また給与と年金の全額差し押さえは法律で

禁止されている。

市長 行き過ぎた行為についてはお詫び申し上げ

ます。納税相談にあたっては財産状況を踏まえて、納税者の意見を聞きながら交渉している。

問 納税相談にあたり第三者の同席を認めるべきではないか。法律の知識もなく納税相談に来ることは大変勇気のいること。岡山市でも認めている。

市長 同席を認めているのは税理士、法定代理人、後見人としている。しかし、ケースバイケースで同席もあると思う。

市庁舎建設について

問 老朽化した庁舎の建て替えへは必要と思うが、まちづくりのビジョンを語り、どのような建物がふさわしいか、市民の納得と合意が大切。現に市庁舎が旧アルファビゼンから現在地での新築に変更になったことについて、当時の田原総務産業委員長でさえ「余りにも唐突」

(朝日新聞2016年5月24日付け)と述べている。

月24日付け)と述べている。

市長 改選前の議会で特別委員会の審議を経て、現在の計画、設計に基づき推進している。

問 合併特例債の期限を理由に急いだ計画であったが、合併特例債は平成30年4月に5年の期限延長が決まっている。急ぐべきではなかったのでは。

市長 当時はまだ決まっていなかった。

避難所に特設公衆電話を

問 大規模災害時、避難所にN-TTの特設公衆電話が設置できる。電話料、光ケーブル工事費も負担してもらえ。県内瀬戸内沿岸部で協定を結べていないのは備前市だけだ。

市長 本年度N-TTと協定を結ぶ。

病院について

問 市民の期待の大きい、病院の医療サービス、診療体制の充実を。

市長 私も設置者として最大限の努力をしてまいります。

10年後20年後の備前市のビジョンについて！

経民会

守井

秀龍



問 10年後20年後の備前市のビジョンをイメージで示すべきではないか。

市長 合併直後の総合計画では「海と緑と炎のまち」をキャッチフレーズにまちづくりの方向性が示され、それぞれの地域の特徴を示しました。今は閑谷学校のストーリーを取り上げ、教育のまちを将来像にする総合計画を作り、これを踏襲したまちづくりを進めます。

10年後20年後の姿の答えの一つがコンパクトシティという3.5キロ圏内で住民が住み続けられる公民館を拠点とする考え方とするものです。

第2弾の企業団地造成を

問 香登地区の企業団地に続く第2弾の企業団地造成が必要と思われるが。

市長 企業の進出状況・立地の条件など情報を収集しながら適地を見極めながら検討します。

既存企業の振興策を充実させては

問 既存企業の振興を今

以上に図る必要があるのではないか。

市長 さらなる振興を図るため私自ら企業に出向き状況把握に努めているところ。今後とも引き続き企業に出向き情報収集や事業拡大のお願いをしてまいります。

遊休地の活性化策は

問 雑草の繁茂する遊休地・耕作放棄地の活性化を考えては。

市長 中山間地域等直接支払制度により、耕作放棄地の発生防止活動や農業生産活動を維持するための活動に国や県と連携して支援を行います。農業委員や農地利用最適化推進委員を通じて、地域の農業者や関係機関と連携を取りながら、遊休農地等の発生防止、解消対策の強化に取り組んでいきます。

太陽光発電設置に関する条例制定は

問 太陽光発電所設置に係る条例制定を検討すると、先の委員会では表明し

されていたが、目的や制定の時期は。

産業部長 国は再生可能エネルギーとして推進していますが、一方で大規模な施設は地域の自然環境、生活環境や景観への影響が懸念されます。本市においても9月予定で50kW以上500㎡以上のものを規制する条例制定を検討しています。

河川の土砂撤去の事業化見通しは。

問 事業の進捗はいかがですか。

市長 引き続き地元と協議が進められるよう努めてまいります。

平成29年度 地区要望集計表(河川・浸没関係)

要望地区	河川名	目印・範囲	概算土量	管理者
吉永・福満	金剛川	南福満～東向井橋	7,500㎡	岡山県
麻宇那	大谷川	向井橋下流付近	600㎡	岡山県
大内	堰堤	大滝山市道沿い	630㎡	岡山県
閑谷	伊里川(1)	大倉下橋～御前橋	4,725㎡	岡山県
友延	伊里川(2)	JR赤穂線～徳当橋	3,000㎡	岡山県
閑谷(広高下)	持手川	広高下橋上流付近	630㎡	岡山県

県管理河川の浸没要望箇所の一覧

学校統廃合の課題について

経民会 西上 徳一



問 教育長は、学校再編整備基本計画の凍結を解除し学校統廃合の課題に教育委員会として正面から向き合っていくことを確認したと報告されましたが、統廃合の課題を詳しくお聞かせください。

教育長 統廃合の基準を定めた学校再編整備基本計画をもとに検討を進めており、全校の校長への聞き取りや、基本計画で学校規模の適正化対象となった小・中学校等のPTA役員やPTA連合会と意見交換、教育委員会と総合教育会議での意見交換を行っています。課題としては、通学のための手段や統合後の学校における学習活動の充実、跡地の活用策などがあると考えております。

問 制度と聞いている。少子化対策の観点から、産後半年から1年の猶予をみるといった備前市独自の方策は考えられないか。

教育部長 家庭で保育が困難である保護者の事由をもとに、保育を必要とする期間を審査し、認定期間を決定しております。育休期間中に子供を預かることが少子化対策として有効かどうかは分かりませんが、保育の必要がない方に入園していただくのが市の方針ですので、ご理解いただきたいと思います。

市長 流れ藻を回収するなど「里海づくり」の取組はあるものの市内沿岸部全てでの実施は困難となる。今後は港湾管理者である県や環境部局などで協議したいと考えます。また、市事業でアマモ成分分析も行っており、有効活用が図れないか、検討していきたい。

問 アマモの処理について枯死したアマモの葉の切れっ端が海岸に打ち上げられて大量に堆積し、やがては腐って悪臭がする。回収や再利用する対策はないか。

教育長 まず中学校に非常に課題があるので、中学校の統廃合を優先させるべきだというのが主な意見でありました。

問 統廃合について総合教育会議での議論はどのようなものだったのか。

教育長 備前緑陽高校には備前市の発展を考えるため人口減少が地域に与える影響、子育て支援の充実、観光振興、文化財の利用促進など備前市が取り組む課題について、生徒の立場で考え、行動するよう学習を充実させてもらいたいと考えます。また、同校の総合学科の特色を生かし、子供たちが自分の将来を考える機会を多く提供していただくことで、地元の中学生にとって魅力ある進学先の1つであり続けることを期待します。加えて、生徒の選択の自由度を高める観点から県立普通科の通学区域のあり方についても検討いただく余地があると申し上げております。

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 保育園就園児がいる家庭において産前産後の5カ月間を除き、お母さんが育児休暇で家にいる間は預かってもらえない

市長 死亡事故という最悪の結果となり、今後の対応は早急に関係地区と協議したいと考えます。

問 飼い主不明な猫が出産した場合、どのように対応したらよいのか。何らか対応は取れないか。

市長 放置した場合に死亡する等、やむを得ない場合に限り岡山県動物愛護センターが保護収容を行います。行政だけで解決できる問題でないことから、関係各方面や地域と一緒に研究したい。

問 飼い主不明な猫が出産した場合、どのように対応したらよいのか。何らか対応は取れないか。

市長 より多くの市民の皆様にご利用いただくために重要なことは、利便性を向上させることであり、より使いやすいバス運行をめざし、ダイヤ改善に取り組んでいる。見直しにあたっては、市営バスの各路線間での接続やJRとの接続を考慮し、地域全体を見渡した公共交通ネットワークの構築をめざしてまいります。

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

総合教育会議での協議の行方は

新志会 星野 和也



問 統廃合について総合教育会議での議論はどのようなものだったのか。

教育長 備前緑陽高校には備前市の発展を考えるため人口減少が地域に与える影響、子育て支援の充実、観光振興、文化財の利用促進など備前市が取り組む課題について、生徒の立場で考え、行動するよう学習を充実させてもらいたいと考えます。また、同校の総合学科の特色を生かし、子供たちが自分の将来を考える機会を多く提供していただくことで、地元の中学生にとって魅力ある進学先の1つであり続けることを期待します。加えて、生徒の選択の自由度を高める観点から県立普通科の通学区域のあり方についても検討いただく余地があると申し上げております。

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 統廃合について総合教育会議での議論はどのようなものだったのか。

教育長 備前緑陽高校には備前市の発展を考えるため人口減少が地域に与える影響、子育て支援の充実、観光振興、文化財の利用促進など備前市が取り組む課題について、生徒の立場で考え、行動するよう学習を充実させてもらいたいと考えます。また、同校の総合学科の特色を生かし、子供たちが自分の将来を考える機会を多く提供していただくことで、地元の中学生にとって魅力ある進学先の1つであり続けることを期待します。加えて、生徒の選択の自由度を高める観点から県立普通科の通学区域のあり方についても検討いただく余地があると申し上げております。

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

問 今後、市教委としてどのような支援を考えているのか。

教育長 備前市の課題について学習していく場合、そこに市職員を講師として派遣したり、学習の場

義務教育の完全無料化は最も有効な少子化対策！

経民会 川崎 輝通



給食費の負担軽減は 未だ不十分

未だ不十分

問 給食費を補助している生徒の現状はどうか。補助していない第一子の人数と構成率はどうか。

教育長 半額補助対象の児童生徒数は小学校で446人、中学校で273人です。全額補助対象数は小学校179人、中学校72人です。補助していない生徒は小学校710人（53・2％）、中学校は458人（57％）を占めております。

問 これでは人口は減少するばかりです。第一子こそ援助を強めるべきです。

市営住宅の充実を 若者定住策に

問 安心して住める市営住宅の改修と建替えは子育て支援からも重要と考えます。現状はどうなっていますか。

産業部長 備前地域は13カ所292部屋、日生地域で1カ所62部屋、吉永地域で2カ所41部屋あります。また、特定公共賃貸住宅

は、日生で1カ所18部屋、吉永で1カ所16部屋あります。今年3月末の空き部屋は、備前で69部屋、日生で1部屋、吉永で3部屋です。特定公共賃貸住宅の空き部屋は、日生で6部屋、吉永で5部屋です。備前市では平成23年3月に公営住宅計画を策定し、順次改修と建替えを進めています。また、民間の施設や空き家を活用して安価で優良な住宅を提供していきます。

水産資源対策を 考える時期に来ている

問 日生漁業の代表的な魚であるアナゴ・シヤコ・アサリなどの減少が続いています。現状はどうか。

産業部長 全体の漁獲量は、過去10年間で減少傾向です。アナゴ類は19トンから7トンへ、シヤコ・エビ類は53トンから40トンへ、アサリ等貝類は100トンから102トンへ、総数で541トンから426トンへと総じて減少しており、漁協組合員も132名から99名

へ減少している状況となっています。

問 県と協力して稚魚の放流と養殖への援助が必要ですか。

兵庫県の産廃計画へは 反対の意思表示を

問 赤穂市と上郡町で大規模な建設計画が進んでいます。認可権限のある県知事に反対の意思表示をすべきです。市長の考えはどうか。

市長 備前市として、これまででも反対の請願を支持しており、赤穂市民と一緒に決起集会へ平成27年2月に参加しております。私も資源豊かな海を守るために反対の立場は変わりません。

AKB（定住自立圏域市町の赤穂、上郡、備前の頭文字を取った略称）で情報共有を図っておりますが、業者の動きもある中で、今後関係機関等の連絡を密にしながら、注視して対応していきます。

備前市の人口減がより加速する 原因分析と早急な抜本的な対策を

経民会 尾川 直行



問 日本創生会議が「2040年に消滅する可能性がある都市」とした全国896市区町村のうち、約8割は人口減が加速すると報告された。備前市の現状分析と今後の施策は。

自治体別の将来推計人口								
	備前市		瀬戸内市		赤磐市		和気町	
	2015年	2040年	2015年	2040年	2015年	2040年	2015年	2040年
20～29歳	1,334	570	1,517	983	1,689	1,353	465	236
30～39歳	1,532	611	1,831	1,223	2,369	1,622	660	294
女子計	2,866	1,181	3,348	2,206	4,058	2,975	1,125	530
女子減少人口		-1,685		-1,142		-1,083		-595
同 減少率		-58.8%		-34.1%		-26.7%		-52.9%
男女計	35,179	21,396	36,975	30,314	43,214	37,985	14,412	9,461
男 総数	16,775	10,583	17,547	14,695	20,671	18,562	6,744	4,355
女 総数	18,404	10,813	19,428	15,619	22,543	19,423	7,668	5,106
人口指数	100.0	60.8	100.0	82.0	100.0	87.9	100.0	65.6

市長 2040年の備前市人口は昨年推計値で2万1千396人。5年前の推計値より1千455人減。近隣より減少率は高く、交通、学校、娯楽施設など要因は様々。現状分析と

対策を検証し取り組む。

問 創生総合戦略策定から3年。人口減に歯止めがかからない。再度懇談会と新組織で多様な意見を求め策定すべき。住民の声を耳を傾けニーズに沿った施策実施が必要だ。

市長 審議会を開催し、事業検証・見直しの意見をいただいている。良い施策は継続し、見直しも行っている。分析を進め新施策に取り組み。平成32年度以降に総合戦略を策定する。

高齢者の移動手段、市営バスの運行経路見直しを

問 免許証自主返納で生活が不便になった方の利便性を考えた運行を。各地域と密着した公共交通対策会議を設置し検討を。

市長 自治会連絡協議会やまちづくり会議を通じて地域要望を取りまとめたい。検討する。

新備前市図書館建設に早急な取組を

問 図書館建設の取組は。庁内の「新図書

館整備基本構想策定委員会」で検討を進める。基本構想をまとめて市民にお諮りして整備を進める。

問 新図書館の管理運営は、地域住民の知る自由や学ぶ自由という社会の根幹を支える図書館に、指定管理や外部委託はなじまないと考えます。

市長 自治体直営、指定管理者制度とも運営形態の選択肢の一つ、また建設予定地はどこがよいのか、図書館単体か複合施設か、財源をどうするのか、「基本構想」で、どのような運営形態が好ましいものか検討していく。

片鉄ロマン街道施設整備と旧片鉄跡地の活用を

問 片鉄跡地の整備は片上地区にとって長年の懸案であった。片鉄ロマン街道延伸に伴い、休憩所トイレ、シャワー施設等の整備は。

市長 自転車の安全で快適な利用環境の整備は重要である。ただ、施設整備は多額の費用を要する。

定住化、J・R、市民イベント、教育、旧アルファビゼン、 本市の計画、スポーツへの補助、河川しゅんせつについて

新志会 石原 和人



備前市の財政について

健志会 沖田 護



問 新築、空き家購入の推移はどうか。

市長 新築はここ数年、年間ほぼ60件程度。空き家購入は、28年度20件、昨年度32件、今年度は5月末で15件。

問 職員の居住地が話題に上る。現状はどうか。

市長 市内58・7%、市外41・3%となっている。過去5年で28名の職員が採用後に転入している。

J・Rへの働き掛け

問 香登駅にて6月に実態を調査したが、利用状況は厳しい。引き続き利用増への取組は必要だが増便は厳しかろう。発想を大転換し流れを変える観点から、例えば香登駅から上道駅までの新規格線を検討してはどうか。

市長 慎重に検討し、J・Rに持ち掛けてみたい。

教育について

問 全国的に保育士不足が叫ばれ、また本市においてもギリギリの運営が続いているのではないかと。7月にも全園視

察にて実情を聞き、必要なら市長部局と協議する。

問 個別の支援が必要な園児は増えているのか。

教育長 増加傾向と聞く。保護者に「保育料無償化はありがたいが、環境整備や保育士の処遇改善に充ててほしい」旨の意見も根強いと思う。支援のあり方の検討を望む。

教育長 貴重な意見と捉える。支援のあり方を考える。部内でも検討したい。

問 今春開園した香登認定こども園を訪問し、保育環境に大いに問題を感じた。将来のこども園の構想から実現までは数年かかるであろう。休園中の香登幼稚園を分園等の形で活用してはどうか。

教育長 常時運営には職員の配置が課題となるが、確保できれば、可能かどうか検討していきたい。

市長 一日も早く、大内も含めこども園を整備すべきと考えるが、財政面も含め協議したい。

問 片上高校の生徒が減少している。魅力化について、委員会を設置し検討中とのこと。卒業生の進路として、市内企業へのP・R、働きかけを強化すべきではないか。

教育長 関係を繋げていきたい。

旧アルファビゼンの活用

問 跡地活用の中でその一部にサイクリング拠点整備を検討してはどうか。

市長 現在職員17名のチームで協議している。その中で検討していく。

河川しゅんせつを進めよ

問 現在協議中の残土処分候補地の処分可能量は、約16万㎡を予定。

市長 県管理の香登川の状況は一向に変わらぬが。

市長 絶滅危惧種のアユモドキ、スイゲンゼンタナゴが確認されたことから関係団体と協議継続しているが、調整できず工事に至っていないと聞く。

今のところ、調整と工事再開を待つことしかできないが、今後も工事の必要性を求めていく。

問 経常収支比率が初めて100%を超える危機は市内で共有しているか。

市長 あらゆる機会を捉えて危機的な財政状況をコスト意識の徹底など継続的に周知している。

問 前市長の4年間の政策で、なぜ急激に悪化したのか。

市長 平成28年度決算では、小・中学校、保育園、幼稚園及び認定こども園における賃金、A・L・Tの全校配置、民営であった備前焼ミュージアム、日生温水プール及び市内バス等の市営化の運営費、道路や河川の維持補修費等の経常経費の増加に加え、市税や普通交付税、地方消費税と交付金等の経常一般財源大幅な減少によるものである。

問 保育料の無料化により恩恵を受ける方がいる反面で、保育士及び幼稚園教諭の正規・臨時職員の人数割合はどうか。

市長 正規が99人、臨時職104人で、正職数には育

休・病休者12人が含まれる。

問 臨時職の給与額は、総務部長 月額16万8千600円です。

問 臨時職に依存し厳しい待遇で、子供たちの命を預かり働いている現実に感謝する。保育士だけでなく臨時職の処遇改善（年休取得も含む）に取り組むよう強く要望する。

問 特に上下水道のインフラは公設民営化して、市長が代わっても、安定して保守保全ができるようすべきでは。

市長 前市長が民営を市営としたことと真逆の政策ですが、国も民営化を積極的に推し進めていることから、先進事例を参考にしながら、備前市の実情に合ったものを検討していきたい。

問 新庁舎については、維持管理費も決まっていのに、建てるありきになっている。談合情報もあるが、どうか。

市長 光熱費で年間1千

700万円程度の見込み、電気保安管理、消防設備点検、機械警備委託費及び清掃業務委託費のメンテナンス費用は調査研究中。

問 来年には県下で最悪に財政悪化する市で、維持管理費も決まっていな

い。建設は勇気をもって凍結すべきだ。

市長 中西議員に答えたとおり。（考えていない）

問 談合疑惑は。

副市長 ありえない、公平公正に行っている。

問 伊部駅の改修とエレベーターの新設を。

市長 J・Rとの協議が必要であり、何といっても財源である。国交省が新たな補助制度を新設したよう

で、調査研究して可能性の有無の検討が先決である。

問 市内企業は深刻な人手不足であり、積極的な外国人労働者の受け入れが急務。低価格の住宅の確保も必要だ。

市長 空き家等確保できるように検討していきたい。

受動喫煙防止対策の取組みを強化しよう

公明党備前市議団

森本 洋子



問 2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本での対策が動き出した。2016年、厚生労働省は、日本において受動喫煙による年間死亡者数が推計約1万5千人と発表。2010年の推計約6千8百人から大きく増加している。備前市の公共施設等の禁煙、分煙対策の現状は。

市長 本庁舎、総合支所、日生・吉永病院、公民館等は一部を除き屋内禁煙とし、屋外は指定場所のみで喫煙可能。備前病院、学校施設については、敷地内完全禁煙。公用車についても、執務室に準じて禁煙としている。

問 子どもが受動喫煙で受ける健康被害は、女性の喫煙者が増加する中、妊娠中から受けている。家庭内での禁煙・分煙まで関与できないが、「健康びぜん21」計画では平成35年度に向け、喫煙者割合の目標設定をしているが、現状の取組は。

市長 今年度が第2次健康びぜん21の中間評価の年で、5月を期限にアンケート調査を行い、現在集計中。確定値ではないが、喫煙率は男性36・9%、女性14・0%。特定保健指導や妊産婦に受動喫煙の害について啓発している。

問 小・中学校では、禁煙教育を行っているか。

教育長 保健体育の授業を中心に喫煙の害についての授業を行っている。受動喫煙の害についても理解できるよう取り上げている。

問 自治会の公民館等では禁煙、分煙の対策が行われているか。

市長 自治会の公民館等では禁煙、分煙の対策が行われている。喫煙者の声から、台風や高潮等の後、海岸にごみが漂

着し、今まで何とか、回収してきたが、高齢化に伴い危険な場所での作業に不安の声があがっている。今後の対策は。

産業部長 海洋ごみは県の対応となっている。大量のごみであれば、市に連絡してもらえば、県に繋げていく。今後の取組は、港湾管理者である県と環境部局など関係機関及び清掃活動団体などと協議し対策を検討している。

問 既存企業向け団地を昔から操業しているため周囲を住宅地に囲まれている工場は、住民との騒音トラブル等も心配。また、設備投資や福利厚生などの環境整備が遅れ、人材確保も厳しい状況と聞く。企業誘致も必要であるが、市内の中小企業向けの企業団地は考えられないか。

市長 市が整備した企業団地は、大企業に限ったものではない。希望があれば、分譲は可能である。

問 「人口減対策」は、備前市における最重要課題だ。移住者を呼び込む体制は十分か。また、近い将来発生が危惧される南海トラフ巨大地震の被害も備前市では比較的軽く済むとPRして企業や移住者を呼び込んでどうか。

市長 市では、定住相談員を常時配置して、空き家バンク等の中古物件の紹介や案内を行っている。また、南海トラフ巨大地震では被害は軽いであろうと予測しているが、それなりの準備を整えておくことが肝要と思う。

問 空家対策をもっと積極的に実施すべきでは

市長 備前市では、安全面や景観面で問題がある空き家を特定空家に指定して撤去する所有者に50万円の補助金を出して、街並みを整備している点は大いに評価する。ただ、指導や勧告に従わない所有者に対して、撤去の命令を出したり、場合によ

っては市が代執行することと検討されたい。

市長 国の法律で市による代執行も可能だが、私権の保護の面から慎重にならざるを得ない。今後、空家等対策協議会で検討したい。

問 企業誘致に知恵を絞れ

市長 財政状況が悪い備前市で企業誘致に大きな特典を用意することは不可能と思う。進出してくる企業に一定期間、上下水道料金に見合う補助金を支給してはどうか。

市長 市では誘致企業や工場を増設した企業に年間水道使用料の10%、300万円を限度に5年間水道奨励金として交付する制度がある。下水道料金については下水道会計が厳しく特典を付与していない。今後検討してみよう。

高年齢者対策でグラウンドゴルフ場の整備を

市長 高年齢者の健康管理にグラウンドゴルフは効果が大である。吉永町地区で特にグラウンドゴルフ場の整備を望む声が強

い。

市長 市ではグラウンドゴルフ連盟の代表の方と何箇所かを調査し、吉永町地区の「大池緑地公園」での整備の可能性について検討している。

路線バス運行は住民の声をよく聞いて

市長 市民の路線バスに対する要望が本当に多く寄せられる。個々の要望を地区で集約してもらってから市にあげてもらおう仕組みにしては。また、再度提案するが、路線バス乗車率アップのためにも高年齢者に安価な定期券を発行しては。

市長 ご指摘のとおり、市民個々からの要望は多数寄せられるが、全てを反映させるのは困難です。地域の要望を取りまとめた上で自治会連絡協議会などを通じて検討していく。また、健康長寿定期券の導入についても状況を見ながら検討していく。

安全な備前市をもっとアピールして移住者の呼び込みを

健志会

橋本 逸夫



まちづくりは「人づくり」から始めよう！

公明党備前市議団 掛谷 繁

繁



問 将来を担う若いリーダーを育成する仮称「備前閉谷塾」を提案するが、どうか。

市長 主体的に行動できる人材確保が大変重要です。自らのまちは自ら育て作っていくことが求められる時代で、開講の提言は大変ありがたい。教育のまちに学びのまちを加えて閉谷学校の建学精神をまちづくりの基本に置き人づくりをテーマに取り組んでいきたい。

問 町内会ハンドブックの作成を提案する。

市長 1年で役員交代する地区もあると聞いている。少しでもスムーズに引継ぎができるようなハンドブックを先進事例を参考に、自治会連絡協議会と連携して作ってきたい。

問 備前く和気路線バス復活運行の考えは。

市長 かつては、片上鉄道の廃線を受けて運行されていた路線であり、利用低迷もあり、平成27年

10月にバス運行が廃止となり現在に至っている。通学通勤、買物等に必要と復活要望も受けている。費用対効果の点からは慎重論もあるが、和気を結ぶ基幹路線で今後は和気町と協議してまいります。

問 百条委員会の結果を受け、「公文書管理条例」を制定すべき。

市長 文書管理規程に従っており「旧アルファビゼン疑惑調査特別委員会」では公文書流出疑惑のみを取り上げられ、肝心の盗難事件解明に関する記録がないことの議論はさねず不満。今回の百条委員会の指摘を受け、部課長会議において文書取扱を再度適正に行うよう徹底しました。条例化については、現状の文書管理規程を踏まえ、必要性を検討してまいりたい。

問 国道2号線・県道交差点改良について伊部東交差点の大規模改修が必要と考えるがどうか。香登東交差点改良と二ノ樋



交差点の改良要望を国に（伊部東）

からコンビニ間の進捗状況と香登東交差点J R踏切を含めた県道の拡幅について取り組んでほしい。

副市長

伊部東交差点は、平成12年以降進展はありません。地域にとって重要だと認識しており、改良は必要と考えます。計画の見直しを含め国に要望していききたい。また、香登東の交差点改良については、歩道整備は33年度完了予定で、現在は用地買収を中心に行っております。J Rの踏切を含めた県道拡幅は、隣接用地の協力が必要です。関係者の協力がいただければ県に要望したい。

商店街の活性化について

日本共産党備前市議団

田口

豊作



問 私は先の市議選で商店のリフォーム助成制度の創設を訴えてきました。地域の商店には市民生活を支えるという公共的な側面があります。全国では107自治体がこの制度を実施しており、備前市においては一般住宅を対象に50万円を限度に工事費の半額を補助する制度もあります。地域活性化のために地元商店へ対象を拡大して実施してもらいたいと考えますが、いかがか。

市長

商店リフォーム助成制度についてですが、現在、空き店舗の改修で新規創業に繋がるものには補助するようになっております。しかしながら、街中の賑わいや地域経済の活性化を図るためには、店舗経営を継続していただくことも非常に重要であることから、今後は店主等のニーズを把握しながら、助成制度の創設に向け検討してまいりたいと考えております。

市内体育施設の修理費用について

問 市内体育施設は業者委託と聞いているが、修理費用は幾らまで業者が負担するようになっていくのでしょうか。また、どのような場合に市が直接修理をするようになっているのか。業者側は費用がないということでは対応が遅いと利用者からの声をよく耳にすることがありますが。

教育部長

市内の体育施設の修理費については、一般社団法人備前市施設管理公社への委託管理となっており、協定により総合運動公園（久々井）日生運動公園、吉永B&G海洋センターでは1件につき30万円未満の修理を管理公社で負担するようになっています。伊部・三石運動公園等では1件10万円未満の修理を管理公社が対応することになっています。ご指摘を受け、迅速な対応を行うよう努めてまいります。

国道の安全確保について

問 国道250号を中学生が自転車通学しており、帰宅時には非常に危険であると保護者がうったえています。県管理の国道ということなので、県の対応状況と市の考え方を聞きしたい。

市長

この件につきましては、岡山県に照明設備設置を要望しておりますが、この区間については道路照明設置基準に該当しないため設置できないということであり、安全対策として自発光式縁石を設置することに対応しているとの回答を県からは受けております。市として、今後考えられる方法としては、他の地区と同様に、防犯灯設置補助制度を利用して照明を設置する方法があります。ただ、この場合にはその費用の一部と毎月の電気料金の負担を地元にお願ひする必要があります。

総務産業委員会

議案 新庁舎建設工事契約3案を可決
請願 核兵器禁止条約に関する請願は「不採択」

総務産業委員会は、6月18、20日に付託された議案5件と請願1件を審査しました。審査の結果、各議案はいずれも原案可決、請願は不採択としました。

庁舎建設に 委員会はGOサイン

新庁舎建設は、建築主体、電気設備、機械設備の3つに分割し、5月に行われた入札で落札した各共同企業体（JV）との契約締結の賛否が問われました。

委員からは、
・新庁舎工事を3分割して発注した意義

・入札システムなどの入札執行の状況
・全体工事の施工監理のあり方などについて、多くの質問がなされました。

執行部からは、

・分割発注することで市内業者が構成員として受注しやすい機会を設けたこと。
・過去に備前病院・日生病院で同様の分割発注事例があること。
・入札には電子入札システムも採用し、手続きに問題はなかったこと。
・建築主体工事受注のJV代表が全工事を統括し、設計事務所が監理していくとの説明がありました。

採決の結果、3件いずれ

の契約案件も賛成多数（賛成5反対1）で可決。

請願審査

「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書採択を求める請願」

採択賛成の委員

「唯一の被爆国である日本が後ろ向きな姿勢では世界的な流れに逆行している」などの意見。

採択反対の委員

「昨年122か国が賛同した条約は評価するが、核保有国の参加はなく非保有国との溝が深まり、現実的ではない」などの意見。

なお、継続審査の提案もありましたが、結論を出す意見が多数を占め、採決の結果、可否同数（賛成3反対3）となり、委員長裁決により不採択と決しました。

本件については、少数意見が留保されました。

所管事務調査

「市内河川のしゅんせつ」

河川のしゅんせつについては、市内河川の各地区要望状況や県管理河川の残土処分場の見通しについてを議題としました。

しゅんせつの要否基準は、流量30%を阻害しているかで判断すること、県への要望時には残土処分地を市で確保することを求められること、処分候補地の協議の状況、希少生物保護（香登川）を関係機関が継続的に調査していることなど、委員会調査は多岐にわたるものとなりました。

委員からは、市としてもっと積極的に取り組むべきとの意見が出されました
（委員長 石原和人）

厚生文教委員会

5議案可決 教育、環境に関する議題を審査

厚生文教委員会は、6月19日、21日に開催され、付託された5議案を審査しました。また、所管事務調査として、健康ポイント制度の見直し、学校再編等に関する委員会調査を行いました。

中学校部活動は外部指導者制導入へ！

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

委員会審査は、市教育委員会が中学校の部活動に外部指導者を配置できる制度を導入したいとして、その

指導者へ報酬を支払うことができるようにする議案でした。

委員からは、外部指導者が配置される校名と部活動名やその予定者数が質されました。（左図のとおり）

学校名	部活動名	配置人数(人)
備前中学校	バドミントン	1
伊里中学校	ソフトテニス	1
	卓球	1
日生中学校	アーチェリー	1
吉永中学校	ソフトテニス	1

※希望があった全校に配置

外部指導者制の導入に反対はなく、原案可決としました。ただ、行き過ぎた指導を未然に防ぐよう教職員との打合せや引き継ぎを適

切に行い、学校側が指揮監督する仕組みづくりを求める意見が出されました。

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

改正は、指定ごみ袋10ℓ（1枚10円）の新設と動物死骸の持込み処理料を1体2千円（改正前400円）とするもので、10ℓ袋で高齢者がごみを出しやすくなることや処理料の値上げは国道県道、JRからの持込み処理（年600〜700体）を想定したものと審査で明らかになりました。結果は原案可決。

日生中学校校舎長寿命化改修工事の請負契約締結

職員室や教室レイアウト変更を含む3階建て校舎構造の長寿命化、内装、電気設備等の改修工事を2億213

万円余で落札者の東備建設㈱と契約締結するもの。今後の中学校再編との整合性が委員会で議論となりましたが、築56年経過した建物の教育環境整備は必要として原案どおり可決しました。

所管事務調査

■健康ポイント事業（通称Bポイント）の見直し

健康づくりのため検診や運動、健康増進催事参加で付与されるBポイントを景品交換する事業は、本年から応募抽選方式とするとの市からの報告がありました。

■小中一貫教育と学校再編

これまでの小中一貫教育推進の取組を、部活動など生徒数減少による課題が顕在化してきた中学校再編の検討に向けていくとの報告が教育委員会からありました。

（委員長 中西裕康）

予算決算審査委員会

6月25日、一般会計補正予算（第1号）を審査し、提案どおり可決しました。

旧片上鉄道軌道敷跡を取得整備へ

審査の個別事項から

■道路新設改良費 4千630万円

問 片鉄軌道敷跡の整備だが、今後の利用計画の明確化と安全対策の徹底を。

答 長年の要望が実った。自転車歩道であり安全対策と水路計画を考慮して整備する。

■自治振興費 500万円

問 今回のコミュニティ助成事業の内容は。

答 佐山地区（みこし修理）と寒河地区（やぐら整備）の要望が採択され、宝くじ助成が受けられることになったもの。

■公民館費 291万3千円

問 利用がごく少ない日生南公民館（頭島総合センター）の耐震診断は、活用方策を明確にしてから行うべきと強く要望する。

答 少し前に借受け要望があったが、未診断で時間がかかる理由から断念となった経過もあり、今回の予算化を考えたもの。

（委員長 橋本逸夫）

議案等審議結果

案 件 名	議決状況	議決形態
平成30年度補正予算 一般会計補正予算（第1号）／三石財産区管理事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決	全 会 一 致
条例の改正 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正／介護保険条例の一部改正／都市公園条例の一部改正 市税条例等の一部改正	原 案 可 決 " "	全 会 一 致 " "
その他議案・選挙・報告・請願・発議ほか 議長選挙／副議長選挙／東備消防組合議会議員の選挙／東備農業共済事務組合議会議員の選挙 和気老人ホーム組合議会議員の選挙／和気北部衛生施設組合議会議員の選挙 教育委員会委員の任命同意／監査委員の選任同意 新庁舎建設（建築主体）工事の請負契約締結／新庁舎建設（電気設備）工事の請負契約締結 新庁舎建設（機械設備）工事の請負契約締結 日生中学校校長寿命化改修工事の請負契約締結 専決処分（専決第2号 交通事故損害賠償額の決定及び和解）の報告 専決処分（専決第3号 交通事故の和解）の報告 平成29年度継続費繰越計算書の報告／平成29年度繰越明許費繰越計算書の報告／平成29年度繰越計算書の報告 「日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める」意見書採択を求める請願 議長の常任委員の辞退 閉会中の常任委員会継続調査事件の付託	選 挙 " 同 意 原 案 可 決 " " 報 告 " " 不 採 択 同 付	－ " 全 会 一 致 賛 成 多 数 " 全 会 一 致 － － － 賛 成 少 数 全 会 一 致 "

9月定例会の予定

■9月5日(水)

開会／議案上程／提案説明

■9月12日(水)

〽14日(金)

一般質問

■9月14日(金)

議案質疑／委員会付託
（一般質問終了後）

■9月18日(火)

〽21日(金)

総務産業委員会
厚生文教委員会

■9月25日(火)

予算決算審査委員会

■9月28日(金)

委員長報告／議案採決／
閉会

開会時刻はいずれも
9時30分から

予定が変更される場合が
あります。

詳しくは議会事務局まで

☎6411803

平成30年度 議会報告会「議員と語る会」のご案内

8/20 (月)

19:00~20:30

日生防災センター(日生町日生)

参加予定議員／川崎輝通・土器 豊・守井秀龍・沖田 護
西上徳一・青山孝樹・藪内 靖・橋本逸夫副議長

8/21 (火)

19:00~20:30

市民センター(西片上)

参加予定議員／中西裕康・掛谷 繁・尾川直行・星野和也
石原和人・森本洋子・田口豊作・立川 茂議長

8/22 (水)

19:00~20:30

吉永地域公民館(吉永町三股)

参加予定議員／川崎輝通・土器 豊・守井秀龍・沖田 護
西上徳一・青山孝樹・藪内 靖・立川 茂議長

8/24 (金)

19:00~20:30

リフレッサターびぜん(伊部)

参加予定議員／中西裕康・掛谷 繁・尾川直行・星野和也
石原和人・森本洋子・田口豊作・橋本逸夫副議長

開催要領

今回の議会報告会は、「議員と語る会」として、参加者と議員との直接対話形式で行うことを主眼に開催します。なお、市議会からの市政課題報告も簡潔に行います。

- 議 会 報 告 市政課題について審議状況や議決内容を報告します。
報告事項 移住定住について／学校再編について
- 意 見 交 換 参加者と議員との意見交換を偏重のないように行います。
- 参加は自由 どの会場へも参加できますので、多数のご来場をお待ちしております。

備前市議会のホームページへは <http://www.city.bizen.okayama.jp/> から



編集後記



新人議員として初めての議会・委員会に出席し、多くを学びました。また、議員就任後に、運動会やバレーボール大会等にも参加させていただき、市民の皆様から貴重なご意見も頂戴できました。

これらの経験を積み重ね、議員活動を通じていかに市民生活に反映させていくかだと再認識したところです。今回、議会だよりの編集にも携わることになり、市議会での出来事により多く接し、議員としての使命、仕事にあたっているかと考えています。

猛暑が続いています。熱中症等に気をつけられまして、楽しい夏の時期をお過ごしください。

(編集副委員長 藪内 靖)



この議会だよりは再生紙を使用し、環境にやさしい植物油インキで印刷しています。